

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Hiroshi NOJIRI, et al.

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: COSMETIC COMPOSITIONS



REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS  
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

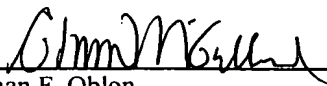
<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2000-020589	January 28, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and  
(B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.

  
Norman F. Oblon

Registration No. 24,618  
C. Irvin McClelland  
Registration Number 21,124



22850

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 1月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-020589

出 願 人

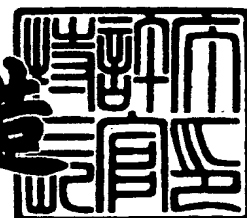
Applicant (s):

花王株式会社

2000年10月 6日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3083002

【書類名】 特許願

【整理番号】 P00371201

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A61K 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県芳賀郡市貝町赤羽 2 6 0 6 花王株式会社研究所  
内

【氏名】 野尻 浩

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県芳賀郡市貝町赤羽 2 6 0 6 花王株式会社研究所  
内

【氏名】 野々村 真美

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県芳賀郡市貝町赤羽 2 6 0 6 花王株式会社研究所  
内

【氏名】 堀 公彦

【特許出願人】

【識別番号】 000000918

【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

【識別番号】 100068700

【弁理士】

【氏名又は名称】 有賀 三幸

【選任した代理人】

【識別番号】 100077562

【弁理士】

【氏名又は名称】 高野 登志雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100096736

【弁理士】

【氏名又は名称】 中嶋 俊夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100101317

【弁理士】

【氏名又は名称】 的場 ひろみ

【選任した代理人】

【識別番号】 100111028

【弁理士】

【氏名又は名称】 山本 博人

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011752

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 化粧品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 次の成分（A）及び（B）：

（A）アミノ酸又はその塩、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸又はその塩、尿素及びベタインから選ばれる保湿成分、

（B）セスキテルペンアルコール類の 1 種又は 2 種以上、  
を含有する化粧品。

【請求項 2】 （B）セスキテルペンアルコール類がネロリドール、セドロール、グアイオール、ベチベロール及びパチョリアルコールから選ばれるものである請求項 1 記載の化粧品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、肌荒れやかさつきを改善する効果が高く、乾燥肌や敏感肌の肌質を改善する効果を有する化粧品に関する。

【0002】

【従来の技術】

天然保湿因子は皮膚の最外層である角質層中の水溶性成分として吸湿力を持ち、角層の柔軟性に重要な役割を果たしていることが周知である。特に乾燥肌と呼ばれる人の角質層にはこれら水溶性成分の含量が少なく、皮膚は吸湿性を失い、弾力性や柔軟性が低下し、種々のトラブルの原因にあることが知られている。このため、従来より、皮膚の柔軟化を意図した化粧品においては、角質層に水分を多量に付与し、かつ付与した水分が長時間保持されるようにするべく、種々の保湿成分が配合されている。特に、天然保湿因子成分にはアミノ酸、有機酸（カルボン酸）、尿素等が含まれていることから、化粧品に種々のアミノ酸、有機酸あるいは尿素を配合し、減少した角質層の水溶性成分を補い、前記皮膚機能を改善することが試みられている（特開昭 55-19291 号、特開昭 58-8007 号、特開昭 62-99315 号、特開平 2-178207 号、特開平 5-163

1 2 9 号)。

【 0 0 0 3 】

また、ベタインは優れた保湿効果、柔軟効果を有し、角質層のターンオーバー速度を速め、肌荒れ防止作用を有することから、これを化粧品に配合することが提案されている（特開平 1 - 2 7 5 5 1 1 号、特開平 8 - 9 2 0 6 0 号）。

【 0 0 0 4 】

しかし、これにより得られる柔軟効果は一過性であり、永続しない。したがって乾燥肌や敏感肌の人の場合には、肌荒れやかさつきに対する改善効果が持続せず、特に肌が敏感であるために、単純な刺激に対してもかゆみや湿疹などが発生したり、精神的の皮膚トラブルが重なった時などに皮膚トラブルを起こしやすいなど、乾燥肌や敏感肌に対して有効な化粧品は未だ知られていない。

【 0 0 0 5 】

一方、グアイオールやセドロール等のセスキテルペン化合物が、メラニン産生抑制作用を有し、これを配合した皮膚外用剤も知られている（特開平 1 0 - 3 6 2 4 6 号、特開平 1 0 - 3 6 2 4 7 号）。また、生理活性物質としてセスキテルペン類と水溶性多価アルコールとを配合してなる皮膚外用剤組成物（特開平 6 - 1 2 8 1 2 0 号）も知られているが、ここで用いられる生理活性物質は、皮膚を透過して皮膚下部組織に吸収されるか、全身血流中に移行して作用するものであり、表皮、特に角質に留まって、肌荒れやかさつきを改善するものではなかった。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、乾燥肌や敏感肌においても肌荒れやかさつきを改善する効果が高い化粧料を提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明者らは、特定の保湿剤とセスキテルペンアルコール系成分を組み合わせることで、乾燥肌や敏感肌においても肌荒れやかさつきを改善する効果が高く、肌質を改善する効果を有する化粧料が得られることを見出した。

【 0 0 0 8 】

すなわち、本発明は、次の成分（A）及び（B）：

（A）アミノ酸又はその塩、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸又はその塩、尿素及びベタインから選ばれる保湿成分、

（B）セスキテルペンアルコール類の 1 種又は 2 種以上、  
を含有する化粧料を提供するものである。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

本発明化粧料に用いられる成分（A）は、保湿成分であり、アミノ酸又はその塩、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸又はその塩、尿素及びベタインから選ばれるものである。ここで、アミノ酸又はその塩としては、リジン、ヒスチジン、アルギニン、オルニチン、カナバリン、グルタミン、グルタミン酸、アスパラギン、アスパラギン酸、セリン、アラニン、グリシン、ロイシン、イソロイシン、プロリン、スレオニン、バリン、メチオニン、シスチン、システイン、ヒドロキシプロリン、フェニルアラニン等のアミノ酸又はそれらの塩類を挙げることができ、中でもリジン、ヒスチジン、アルギニン等の塩基性アミノ酸が好ましく、特に、柔軟効果の点からアルギニンが好ましい。これらのアミノ酸の塩としては、ナトリウム塩、カリウム塩、カルシウム塩、マグネシウム塩等が挙げられる。

【 0 0 1 0 】

ピロリドンカルボン酸又は乳酸の塩としては、ナトリウム塩、カリウム塩、カルシウム塩、マグネシウム塩などが挙げられる。

【 0 0 1 1 】

これら成分（A）のうち、アミノ酸又はその塩、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸又はその塩及び尿素は、単独で又は複数を組み合わせて用いることができ、これら保湿成分の本発明化粧料への配合量は全組成中に 0. 0 1 ～ 6. 0 重量%、特に 0. 0 5 ～ 4 0 重量%、更に 0. 1 ～ 2 0 重量%が使用感に優れるので好ましい。

【 0 0 1 2 】

成分（A）のうち、ベタインとしては、種々のアミノ酸のN-トリアルキル置換体を使用することができ、例えば、グリシンベタイン、 $\gamma$ -ブチロベタイン、ホマリン、トリゴネリン、 $\beta$ -アラニンベタイン、カルニチン、ホモセリンベタイン、アントプレウリン、バリンベタイン、リジンベタイン、オルニチンベタイン、アラニンベタイン、タウロベタイン、グルタミン酸ベタイン、フェニルアラニンベタインなどを使用することができる。これらのうち、特にグリシンベタインが大きな柔軟化効果を得られる点で好ましい。このようなベタインとしては市販品を使用することができ、例えばグリシンベタインとしては旭フーズ社製アミノコートを使用することができる。また、本発明においては、このようなベタインの一種を使用してもよく、複数種を合わせて使用してもよい。ベタインの本発明化粧料への配合量は、特に限定されないが、0.01～10重量%、特に0.1～3重量%とするのが十分な保湿効果、柔軟効果を得るうえで好ましい。

#### 【0013】

本発明化粧料に用いられる成分（B）のセスキテルペンアルコール類としては、ネロリドール、セドロール、グアイオール、ベチベロール、パチョリアルコール等が挙げられるが、このうち、肌荒れやかさつき改善効果及び肌質改善効果の点から、セドロールが特に好ましい。

また、本発明においては、これらのセスキテルペンアルコール類を含有する植物の抽出物、水蒸気蒸留物又は圧搾物等を使用することもでき、このような植物としては、例えばセダー、パチョリ、サンダルウッド、ベチバー、ショウガ、クミン、ミル、コショウ、ペパーミント、バラ、ジャスミン、カノコソウ、スイカズラ、タイム、茶、グアイヤックウッド等が挙げられ、特にセダー、パチョリ、サンダルウッド、ベチバー、ショウガ、コショウ、ペパーミント、バラ、スイカズラ、グアイヤックウッドが好ましい。これらの植物は、定法により、抽出、水蒸気蒸留、圧搾等すれば良く、更にこれら留分を分画して用いたり、更に精製した精油を用いたり、アセチル化等の反応により誘導化したものを用いることもできる。

#### 【0014】

セスキテルペンアルコール類は、1種以上を用いることができ、特に2種以上



組み合わせて用いたり、2種以上のテルペン系成分を含有する植物エキスをを用いるのが、肌質改善効果がより高くなるので好ましい。当該成分（B）は、本発明化粧料全組成中に1ppm以上、特に0.01～20重量%、更に0.1～10重量%となるように配合するのが好ましい。

## 【0015】

本発明化粧料は良好な肌あれやかさつき改善効果及び肌改善効果を得る点で、そのpHを2～6.9、特に3～6.5にするのが好ましい。当該pHの調整には、種々の緩衝成分を用いるのが好ましく、特に前記成分（A）の乳酸塩を用いて緩衝系を形成するのが好ましい。

## 【0016】

更に、本発明の化粧料には、その効果を損なわない範囲において、上記必須成分の他に通常化粧品や医薬部外品、医薬品等に用いられる成分を適宜配合することができる。このような成分としては、例えば特開平5-85924号に記載のスフィンゴシン誘導体、特開平8-92054号、特開平8-109120号などに記載のグアニジン誘導体、天然セラミド、特開昭62-228048号、特開昭63-216812号、特開昭63-216809号、特開昭63-227513号、特開昭64-9913号、特開昭64-29347号、特開昭64-31752号、特開平8-319263号等に記載のセラミド類似構造物質、特開平7-330572号などに記載のアルギニン含有ペプチド類、植物抽出物、美白剤、抗炎症剤、一重項酸素消去剤、抗酸化剤、多糖類、アルコール類、ステロール類、血行促進剤、水、エタノール、界面活性剤、油性成分、シリコン類、フッ素系油剤、紫外線防御剤、粉体、ゲル化剤、被膜形成剤、皮脂分泌抑制剤、柔軟剤、防腐剤、金属イオン封鎖剤、色素、香料等が挙げられる。

## 【0017】

本発明の化粧料は、通常の方法により製造でき、可溶化系、乳化系、粉末分散可溶化系、粉末分散乳化系、粉末分散油等の任意の剤型にできる。また、化粧水、乳液、クリーム、美容液、化粧油等のスキンケア化粧料、ファンデーション、パウダー、口紅、ほほ紅、アイシャドウ等のメイクアップ化粧料などの皮膚化粧料として好適であるが、特に肌荒れ改善剤、肌荒れ改善用化粧料として用いるの

が好ましい。

【 0 0 1 8 】

【実施例】

実施例 1

表 1 及び表 2 に示す組成の乳化化粧料を常法により製造し、肌あれ、かさつき改善効果、及び肌質改善効果を評価した。結果を表 1 及び表 2 に併せて示す。

【 0 0 1 9 】

(評価方法)

(1) 肌荒れ・かさつき改善効果：

肌荒れやかさつきの良くある女性（20～30歳）10名のパネラーにより、各化粧料を1日2回（朝と夜）1週間使用したとき、肌荒れやかさつきの状態を使用前と比較して、以下の基準で評価した。結果を平均値として示した。

- 5：使用前より著しく良くなった。
- 4：使用前よりかなり良くなった。
- 3：使用前よりやや良くなった。
- 2：使用前とあまり変わらなかった。
- 1：使用前と全然変わらなかった。
- 0：悪化した。

【 0 0 2 0 】

(2) 肌質改善度：

肌が敏感であるという自覚のある女性（20～30歳）10名のパネラーにより、各化粧料を1日2回（朝と夜）1ヶ月使用したとき、日常の生活の中での肌荒れやかさつきの起こりやすさを、使用前と比較して、以下の基準で評価した。結果を平均値として示した。

- 5：使用前より著しく肌荒れやかさつきが起こりにくい。
- 4：使用前よりかなり肌荒れやかさつきが起こりにくい。
- 3：使用前よりやや肌荒れやかさつきが起こりやすい。
- 2：使用前とあまり変わらず、肌荒れやかさつきが時々起こる。
- 1：使用前と変わらず、肌荒れやかさつきが良く起こる。

0：使用前より肌荒れやかさつきが起こりやすくなった。

【0021】

【表1】

成分（％）	本 発 明 品				比 較 品		
	1	2	3	4	1	2	3
アルギニン	3	3	3	3	10	—	—
パチョリオイル*1	5	—	—	2.5	—	5	—
セダーウッドオイル*2	—	5	—	2.5	—	5	—
セドロール	—	—	5	—	—	—	—
イソステアリルグリセリルエーテル	2	2	2	2	2	2	2
ソルビタンモノステアレート	2	2	2	2	2	2	2
2-オクチルドデシルミリステート	10	10	10	10	10	10	10
スクワラン	5	5	5	5	5	5	5
グリセリン	5	5	5	5	5	5	5
精製水	残量	残量	残量	残量	残量	残量	残量
肌荒れ・かさつき改善度	4.5	4.6	4.8	4.9	1.8	2.5	0.8
肌質改善剤	4.5	4.2	4.6	5.0	2.2	1.9	1.0

\*1：パチョリアルコールを30重量%及びカリオフィレンを20重量%含有する。

\*2：セドロールを24重量%含有する。

【0022】

【表 2】

成分 (重量%)	本 発 明 品			
	5	6	7	8
ベタイン*3	0.1	0.1	0.1	0.1
パチヨリオイル*1	0.5	—	—	0.25
セダーウッドオイル*2	—	0.5	—	0.25
セドロール	—	—	0.5	—
イソステアリルグリセリルエーテル	2	2	2	2
ソルビタンモノステアレート	2	2	2	2
2-オクチルドデシルミリステート	10	10	10	10
スクワラン	5	5	5	5
グリセリン	5	5	5	5
精製水	残量	残量	残量	残量
肌荒れ・かさつき改善度	4.1	4.0	4.0	4.2
肌質改善度	3.7	4.1	3.6	4.4

\* 3 : グリシンベタイン、旭化成工業 (株) 製アミノコート

## 【 0 0 2 3 】

表 1 及び表 2 から明らかなように、成分 (A) 及び (B) を併用した本発明化粧料は、これらをそれぞれ単独で配合した場合に比べて顕著な肌荒れ・かさつき改善効果及び肌質改善効果を有していることがわかる。

## 【 0 0 2 4 】

## 実施例 2 (化粧水)

以下に示す組成の化粧料を常法により製造した。

(成分)	(重量%)
ベチバーオイル (ベチベロールを 6 0 重量%含有)	2. 0
ピロリドンカルボン酸ナトリウム	1. 0

ポリオキシエチレン (20) ソルビタンモノ

ラウリル酸エステル	1. 5
グリセリン	2. 0
精製水	残量

【0025】

実施例 3 (O/W型乳液)

以下に示す組成のO/W型乳液を常法により製造した。

(成分)	(重量%)
サンダルウッドオイル	
(サンタロールを73重量%含有)	2. 0
セチルアルコール	1. 0
ワセリン	2. 0
スクワラン	6. 0
ジメチルポリシロキサン	2. 0
グリセリン	2. 0
乳酸ナトリウム	1. 0
ポリオキシエチレン (10) モノオレイン酸エステル	1. 0
グリセロールモノステアリン酸エステル	1. 0
パラベン	0. 2
精製水	残量

【0026】

実施例 4 (W/O型クリーム)

以下に示す組成のW/O型乳液を常法により製造した。

(成分)	(重量%)
グアイヤックウッドオイル	2. 0
(グアイオールを64重量%含有)	
ジメチルポリシロキサン	10. 0
メチルフェニルポリシロキサン	3. 0
オクタメチルシクロテトラシロキサン	12. 0

ポリオキシアルキレン変性シリコーン	5. 0
1, 3 - ブチレングリコール	6. 0
尿素	1. 2
パラベン	0. 2
香料	微量
精製水	残量

【 0 0 2 7 】

実施例 2 ～ 4 で得られた化粧料はいずれも、肌荒れやかさつきを改善する効果が高く、乾燥肌や敏感肌等の肌質を改善する効果を有するものであった。

【 0 0 2 8 】

【発明の効果】

本発明の化粧料は、肌荒れやかさつきを改善する効果が高く、乾燥肌や敏感肌の肌質を改善する効果を有するものである。

【書類名】 要約書

【要約】

【解決手段】 (A) アミノ酸又はその塩、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸又はその塩、尿素及びベタインから選ばれる保湿成分、並びに (B) セスキテルペンアルコール類の 1 種又は 2 種以上、を含有する化粧品。

【効果】 この化粧品は、肌荒れやかさつきを改善する効果が高く、乾燥肌や敏感肌の肌質を改善する効果を有する。

【選択図】 なし

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-020589
受付番号	50000096665
書類名	特許願
担当官	第五担当上席 0094
作成日	平成12年 1月31日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 1月28日
-------	-------------



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000918]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号  
氏 名 花王株式会社